

市政のここが聞きたい

議会のホームページから、議会の映像がご覧いただけます。

質問項目一覧

《通告順》

- 加藤 利江
 - ①高齢者等見守りの取り組みについて
 - ②松寿園について
 - ③上柴地区の課題について
- 清水 修
 - ①排水路清掃について
 - ②市民サービスと施設の管理について
 - ③排水路の改修について
 - ④企業誘致について
- 清水 健一
 - ①花園IC拠点整備プロジェクト
 - ②市民の健康増進について
 - ③再生可能エネルギーの普及について
- 清水 睦
 - ①民間学童保育の委託料について
 - ②高齢者対策について
 - ③深谷駅北口のごみ問題について
- 馬場 茂
 - ①公民館運営について
 - ②深谷市国民健康保険について
- 五間くみ子
 - ①子ども・子育て支援について
- 加藤 温子
 - ①決算書一般会計収入未済及不納欠損（合計約20億円）市の対応と対策は
 - ②市民の声
- 村川 徳浩
 - ①花園IC拠点整備プロジェクトについて
- 中矢 寿子
 - ①公共施設の改善について
- 永田 勝彦
 - ①深谷市本田春日丘自治区内の養豚場による悪臭地下水の汚染等の被害
 - ②深谷市入口玄関に（右側）在る畠山重忠公像
- 田嶋 均
 - ①市長の政治姿勢について
- 為谷 剛
 - ①行政と市民の協働
 - ②学校支援
 - ③成果品検査
- 三田部恒明
 - ①障害者総合支援法
 - ②障害者優先調達推進法

Q 高齢者等見守りの取り組みについて

A 地域住民と行政が連携した「地域支え合いマップづくり」を進めている

加藤 利江

問 地域支え合いマップはなぜ必要なのか。市内202ある自治会の中で支え合いマップが出来ている自治会はいくつあるのか。

答 現在のところ186自治会でマップが完成している。

問 個人情報問題に対して市はどのように考えているのか。

答 適切な個人情報の取り扱いを行うことが重要であると考えている。

問 災害時等要援護者が平成24年度末で2825名いるが、その中で支え合いマップに載せている人数は。

答 平成25年8月末現在の災害時等要援護者名簿の登録者数は、3238人であり、全員をマップに記載している。

問 民生委員の役割と現状について。

答 支え合いの活動を各地域で展開するうえで、ボランティアや地域住民などの必要な支援を組み合わせるコーディネーターの役割を期待している。

問 松寿園について

問 今後も現状のまま運営するのか。

答 当面は現状の施設のまま運営を



松 寿 園

問 上柴地区の課題について

問 教育センター跡地の利用について。

答 東都医療大学へ有償貸与する方向で協議を進めたい旨の回答をした。

Q アウトレットモール誘致での、最終目標は何か

A 交流人口を増やし、最終的には定住人口を増やしていく

清水 健一

問 推奨来場者650万人を、どう市内及び中心市街地に呼び込むのか。

答 エリア内に情報発信機能を持たせるなど、様々な市内誘導策が行われるよう、関係団体と協議していく。

問 予想される経済浮揚効果を市全体に波及させる方法は考えているのか。

答 経済浮揚効果のうち、税の増収分は、市民の安心安全はもとより、福祉や教育の充実のために活用していく。

問 渋滞が予想されるが、車でのアクセスや公共交通整備は考えているのか。

答 地元住民の日常生活に支障をきたさないよう、周辺道路の拡幅や交差点の改良などを検討していく。

問 市民の健康増進について

問 市民の健康寿命が県平均を下回っているが、対策を考えているのか。

答 介護を要する期間を短くし、健康で生活できる期間を伸ばすために、世代に応じた幅広い対策を推進していく。

問 健康で長生きをしたいというのは万人の願いである。具体的な事業は。

答 市民の健康増進への気運を高める



問 再生可能エネルギーの普及について

問 農地に太陽光発電が設置できるようになったが、市の対応は。

答 営農を継続し設置を希望する農家に対して、積極的に助言・指導を行っていく。また、広報活動にも力を入れていく。

Q 排水路の清掃活動で限界を越えた場所があるが対策を

A 負担軽減のため管理方法を研究し地元と協働で進めたい

清水 修

問 川本地区で毎年行われる排水路清掃で大人の背丈を越える雑草や雑木、また急勾配な法面など、安全面で市民の活動として限界を越えている、対策を。

答 急勾配な場所や住民の高齢化で作業が困難になっているという相談が寄せられている。負担軽減のため、管理方法を調査・研究するとともに景観の向上にもなる対策を地元との協働で進めたい。

問 アウトレットモール誘致を核とする開発計画について

問 市の現状は、中心市街地や地域の小売店の停滞、及び仕事がなく困っている中小零細業者の支援、又、交通弱者の足の確保などが大きな課題である。雇用や地域経済の活性化をいうのであれば、なぜ、大規模開発に市民の血税を投入するのか。

答 アウトレットモールの誘致は、主財源の確保と雇用の創出、又、多くの来場者を市内に呼び込み、観光や農業の振興事業との相乗効果によって地域経済の活性化を図るものである。

問 アウトレットモールのある佐野市や入間市、軽井沢町などでは、来場者を市内に呼び込むのが大きな課題になっており、地域経済の活性化になっていない。「大きな経済波及効果を生み出す」と言っているが、その根拠は。

答 本事業は、まだ構想段階である。

